川越市立大東西中学校 学校だより

きらめき

令和７年４月１１日発行
第１号
川越市立大東西中学校
校長　小川　潤也

学校教育目標　『豊かな心をもち、たくましい生徒 ～ 夢や希望をもつ生徒 ～ 』
○自ら考え、自ら学ぶ生徒　○豊かな心を育む生徒　○心身の健康に努める生徒

題名の由来：「きらめき」というタイトルには、大東西中学校の生徒たちが、学校生活の中で、一人一人自信を身に付け、きらきらと光り輝いてほしいという願いを込めました。

「学び合い、認め合う中で、自己を磨き高めることができる学校」を目指します。

本年度、小金井前校長から引き継ぎ、校長として着任いたしました小川潤也と申します。生徒たちのより良い成長のために、家庭や地域のご協力を得ながら、教職員一同、一致団結して教育活動に取り組んで参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

４月８日（火）、晴天の中、令和７年度の始業式と入学式が行われました。今年度は１０８名の新入生を含め、全校生徒３１９名（１１学級）、教職員３３名でのスタートとなります。

【始業式　式辞　抜粋】

今日は、そのスタートにあたり、３つのことを話します。

１つ目は、目標をもってください。新しい年度のスタートをチャンスととらえ、「こうなりたい」「これを頑張ってみたい」という「なりたい自分」を目指し、今年度の目標をしっかり立てて、前向きな気持ちで学校生活を送ってほしいと思います。

２つ目は、学校生活を一生懸命に取り組んでください。学習、運動、部活動、委員会、学校行事、真剣に取り組んでください。苦手な生徒もいると思います。でも、そこで、すぐにやめるのではなく、ほんの少しでも、わかるようになりたい、できるようになりたいという気持ちをもって学校生活を送ってほしいです。あきらめずに取り組んでほしいです。また、好きなこと、得意なものについては、どんどんその部分を伸ばしてほしいです。より深めてほしいです。それが、自信につながると思います。

３つ目は、自分と周りの人を大切にしてください。自分と周りの友達との違いを認め、思いやりの心を持つ、自分がされて嫌なことは友達にはしない。同じように、自分を大切にすることです。悩んだり、困ったりすることがあると思います。その時は、一人で抱えずに、近くの大人に相談してください。学校であれば、先生たちがいます。学校を出たら、お家の方がいます。みんながみなさんを見守っています。

【入学式　式辞　抜粋】

みなさんは今日、中学校での生活にわくわくする気持ちと、緊張感と、そして不安を抱きながら、中学校の門をくぐったと思います。でも心配はいりません。私たち教職員、そして上級生もいます。そして、今のみなさんのこちらを見ている真剣な表情、態度をみると、すぐに中学校生活にも慣れ、安心してスタートさせることができると思います。

入学にあたり、３つのことを話しします。

１つ目は、出会いを大切にしてください。新しい出発、新しい仲間、新しい先生、新しい教科書、部活動、生徒会活動など、たくさんの出会いが待っています。これらの出会いを大切にしてください。そのためには、相手を思いやる心、その思いが伝わる行動が大切です。そのことを意識して、充実した学校生活を送ってください。

２つ目は、夢や目標を持ち、あきらめずに取り組んでください。

「あれをやってみたい」「こんなことしてみたい」と思ったら、ぜひ、チャレンジしてください。なりたい自分を目指してください。「どうせやっても無理」「どうせできないや」といって、あきらめるのはもったいないです。自分で、自分にふたをしない。はじめからあきらめるのではなく、まず、やってみる、あきらめずに挑戦する気持ちを大切にしてほしいです。

３つ目は、（始業式式辞と同様）

今日から始まる中学校は、大人になるための準備の学校です。小学校との違いに戸惑いもあるかもしれませんが、一つ、一つが勉強です。そして、本校での３年間で、心と体をより大きく成長させることを期待しています。